

今月のコラム

## この夏の酷暑で薔薇も大変です

(株)花ごころ 小塚 純一

日本でも著名な茶匠がいる、彼のお茶は日本の著名なホテル、航空会社のファーストクラスなどから指名されています。彼は、日本茶の良さを、水出しのお茶3000杯で、7月末の熱い銀座で広報活動している、日本の伝統の素晴らしさお茶に情熱をかける熱い男です。最近、抹茶は世界的に人気です。ところが静岡県では、お茶の総需要が下がりお茶の転作にオリブを進めている、これでは、あまりにも場当たりのではないか？彼は、それを危惧しています。私は彼と、ベトナムの北部のお茶の品質アップのお手伝いを始めました。



今回は、ベトナム・アジアに入り見て感じた事を少し思うまま書きたいと思います。

アジアは成長しています、平均年齢が30才に行かない国も多いベビーブームです。日本が過去に経験し蓄積した技術力、農業や環境技術、日本の安心安全などを、今、アジアで日本は求められています。しかし、国を超えたりリスクや、習慣の違いがあり手間もかかり我々中小企業、一社だけでは、できることに限りがあることも感じています。



もう一つの視点動きは、世界が繋がりましたことです。

情報も物流も、昨日アジアで話したことが、世界に広がる。漁業でもシーアイスは、氷の保存時間を5倍に変え、大阪にもマグロが空輸された。また、日本のチェーンストアの契約農場で蓄積したデータも、ベトナムの農業にも生かされ試みも始まりました。

私たちのすべき役割はこれだ！

「日本の技術、魅力ある蓄積を再編集することが求められている」

人のネットワークと情報のネットワークを組み合わせ、求められる変化に答えて行くことです。

例えば、ベトナムアジアで困ることは、安全な資材がない。農業は技術だけでは再現できない。良い資材が準備されてこそ再現できる。そこで土の大切さも改めて実感させられた。現地の人とコラボして、日本の技術の蓄積を生かし良質な資材を準備することだと気付きました。また、そのこと自体がアジアの一員である日本の産業にも応用でき、国内の活性化につながります。



土のちからと「ユーザー視点の新しいワクワク」

堆肥の技術では、生ゴミも甲賀市の10万人に堆肥を配りゴミ箱に堆肥と生ゴミでセンターに持ち込む、完全循環が実現しています。その技術は、大規模な体験型農場や市民農園でも求められています。みなさんの知恵とネットワークを組み合わせ、国内外の堆肥の微生物コントロールの技術でアジアに貢献してゆきたいと思います。

2019年天津の冬季オリンピックの環境にそんな依頼も受けています。

この夏の酷暑で薔薇も大変です。

弊社の薔薇の鉢上げをしている農場で、昨年、「土にちからのあるマルチ」を利用したところ、夏疲れもなく、秋に見事な花をつけてくれました。鉢の環境での管理は薔薇にとっても厳しい環境改善です。そんな環境をクリアできる技術を組み合わせ、各種造園施工でご利用いただいている改良材として、大手様にもご案内をして期待されています。

そして、お茶の文化に対する熱い男の教えてくれた、水出しの美味しいお茶を飲みながらこの文章を書きました。





カエデ  
kaede



## シンボルプロムナード公園樹木見学会報告

有限会社 緑花技研 藤田 茂

8月5日(金)おもてなし花壇が設置されているシンボルプロムナード公園内にて、公園内植栽樹木の見学会を行いました。緑花技



見学会の様子

研の藤田茂が講師として案内を致しました。28名の方にご参加いただき、ガーデンを考える会会員からも参加していただきました。

当日はいかにも夏といった天候で最高気温は33.1℃を記録しましたが、湿度が66%と比較的低く風もあったことから熱中症の恐れは感じないで済みました。

前回の見学会の反省を踏まえて、植栽種選定時の注意点、文献に出ていない特性、間違えやすい樹種、同じ名前でも種の異なる樹木、似た名前でも性質の大きく異なる植物等、現地に植栽してある樹種の特徴的なものを選択し写真付の資料を作成しました。

ガーデンを考える会の花壇では、オリーブについて樹齢、価格、産地、害虫等色々質問が出て有意義な見学会となりました。



ガーデンを考える会のおもてなし花壇で説明する藤田講師

## 「スポーツ＆フラワーフェスタ2016」報告

「花と緑でおもてなし」五輪プロジェクトの一環として、8月6日、7日に「スポーツ＆フラワーフェスタ2016」に参加しました。

会員より提供頂いた花苗、園芸資材の配布と、東北震災支援として我が会で行っている「震災支援」の募金活動を行いました。今回のイベントにご協力頂いた会員は、(株)JA東海グリーン、(株)フラワーオークションジャパン、(株)芳樹園、(株)ハイポネックスジャパン、セキスイデザインワークス(株)、(有)緑花技研の方々です。

フェスタでは、各企業、団体の作成したおもてなし花壇を巡るツアーが行なわれましたが、当会の花壇ではオリーブ、マンデビラ、パパイヤ、イポメア等参加者が非常に興味を示し、特にパパイヤの小さな雌花は多くの人が覗き込んでいました。

「震災支援」の募金活動では、5,846円の募金が集まりました。



フラワーフェスタ イベントブース



毎年立ち寄ってくれる方や親子連れも





カエデ  
**kaede**

## ガーデンを考える会、屋内緑化推進協議会と

### 10/12 G A R D E X 会場で連続セミナー

10月12日(水)～14日(金)に千葉・幕張メッセで開催される I F E X、G A R D E X 会場で初日の12日午後、ガーデンを考える会と屋内緑化推進協議会が連続してセミナーを開催します。併せてのご参加をご検討ください。

| 10月12日(水)   |                                                                                        |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 13:00～15:00 | 屋内緑化推進協議会「屋内緑化コンクール2016表彰式、セミナー」<br>講演「ガーデンセラピー 心身を癒やす究極の自然療法」<br>講師：(株)タカショー 高岡伸夫 社長  |
| 15:30～16:30 | ガーデンを考える会 研修セミナー<br>演題「接客から学ぶ！園芸業界No.1のおもてなしを目指して」<br>講師：(株)サンフラワー・サービスまつおえんげい 松尾正晃 代表 |

\*「接客から学ぶ」セミナー受講料は4,000円ですが、ガーデンを考える会会員には聴講券あり。

聴講券ご希望の会員は、ガーデンを考える会事務局まで。FAX:052-571-2208 mail:npogarden@green-joho.jp

\*屋内緑化推進協議会の催事については協議会事務局まで。TEL: 03-3799-5435(FAJ内)



(株)サンフラワー・サービスまつおえんげい 松尾正晃氏

講演内容：

会話がすべてという考えのもと、栽培アドバイスのポップをなくし、会話による販売の徹底  
スタッフのスキルアップのために毎日朝夕のミーティングによる情報や知識の共有

## 業界ニュース

### 「ガーデンセラピー 心身を癒やす究極の自然療法」

(株)タカショー代表取締役社長の高岡伸夫氏による書籍

四六判204ページ 1400円+税 幻冬舎

家と庭の暮らし方を見直し、欧米における庭と健康の関係についても徹底的に視察、研究。それらをもとに、庭における五感刺激で心身のバランスを整える予防医学“ガーデンセラピー”を提唱している。



\*“ガーデンセラピー”とは、人の健康に対する庭の有効性を改めて確認し、庭とのさまざまな関わりの中で心身を整え、自己治癒力を高めながら健康な暮らしと健康寿命の増進を実現する“6つの療法”の総称。

(一社)日本ガーデンセラピー協会は、構成する6つの療法について産・官・学で協同し、研究・教育・啓蒙活動を行い、高齢化の時代において日頃から健康を考え、予防医学の観点から自己治癒力を高め、心身ともに豊かな住まい方、ライフスタイルをつくりあげていくことを目的とする。

## 業界ニュース

### フラワートライアルジャパン2016秋 入場登録受付中

長野県・山梨県にまたがる7会場で秋の商談会「フラワートライアルジャパン2016秋」が9月27日(火)～29日(木)、メイン会場を茅野市民館に移し開催する。各出展社が来春に向けて、植物・資材など新商品を発表する。入場事前登録制。初日夜にはJ R茅野駅隣「マリオローヤル会館」で情報交換懇親会を開催。申込受付中。

▽フラワートライアル <http://www.green-joho.jp/trial/>



カエデ  
kaede

2016 9 SEP. Vol.92

NPO法人ガーデンを考える会 会報



## 変化と向き合う

近年、スマートフォンが普及し、場所を問わず様々なことができるようになりました。通販に関しては、無いものが無いほど充実しており、画面の中に百貨店が広がっているような状態です。このようなスマートフォンを利用した商売は、持っている全ての人ターゲット顧客になるという点でとても効率的に感じます。



日本ポリ鉢販売(株)  
山原 汰介

例えば、話題となったアプリ「ポケモンGO」。基本は無料のため「一度ダウンロードしてみようかな」と思った方も少なくないはずです。試しにダウンロードし、面白さ・価値を見出した一部の人が課金するようになります。1人当たりの課金が僅かでも、顧客が多い分集まると大きな金額となるようです。実際、配信開始から3週間以上経過した時点でも、課金による収益は1日10億円を維持しているとの報道もありました。(米調査会社 App Annie 発表)

画面上で様々なものが操作できるようになり、趣味においても電子化が進んでいるように感じます。読書における、本の電子書籍化などが例に挙げられます。このような電子化の波に飲み込まれず、逆にうまく波を利用することが出来れば、園芸という趣味の人口を増やすことが出来るのではないかと思います。

上に挙げたアプリにはAR(拡張現実)という技術が用いられています。ARというのは、カメラを映すと、そこに音・映像等の情報が画面に表示されるものです。この技術を植物のラベルなどに取り入れてみるのも面白いかもしれません。栽培説明を文字だけではなく、映像として立体的に見せることが可能だと思います。方法によっては、植物を動物のように見せることもできるかもしれません。植物の本来の価値を伝えるという点では様々な意見もあるかとは思いますが、興味を持たせるという点では有効に感じます。



弊社の経営方針の中には、「現在の有るべき姿に満足することなく、あらゆる面において改革・改善を惜しまない」という言葉があり、常に変化を大切にしています。これからも積極的に新しいことに取り組み、少しでも園芸業界の発展に貢献していけたらと思います。



## 会員紹介

### アップルウェア株式会社

プラスチック製の園芸容器「プランター」を中心に販売して今年で59年目になります。

昨今の園芸容器関係の売上は大変厳しい状況になっており、昔の様に新製品を作れば商品が売れる時代ではなくなりました。

しかし私共の考えとしては商品が売れないのではなく、お客様の欲しい商品が売場に無い事が販売不振の最も大きな要因と考えております。

園芸容器の専門メーカーの役割として、常にお客様に喜ばれる商品の開発にチャレンジし、少しでもお客様のガーデンライフに貢献できる様に、誠心誠意頑張っておりますので、会員の皆様方におかれましてはご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

事業本部 兵庫県小野市中町 35 番地  
TEL 0794-62-6951 FAX 0794-63-0884  
HP <http://appleware.org>  
MAIL [main@appleware.org](mailto:main@appleware.org)

